

# 尾間木中だより

学校教育目標  
豊かな心もち、  
たくましく生きる生徒

平成 29年 5月 1日 第2号

〒336-0926 さいたま市緑区東浦和4-29-1  
電 話 048-874-9733  
F A X 048-810-1127



## 「母の愛情」

校長 堀 田 明 良

満開だった桜の花と交代するかのよう校地内外のハナミズキが緑そして白、赤に色づき始めました。保護者や地域の皆様におかれましては、年度初めのご多用の中、各学年の授業参観、保護者会、学級懇談会や22日に行われた学校公開に多数お越しくださいましてありがとうございます。また、22日の午後に実施いたしました集団下校、引き渡し訓練のご協力ありがとうございました。学校公開のアンケートには「子どもと先生が一体となって取り組んでいる授業の姿に感動と安心をしました。(1年生保護者)」「掲示物がきれいでした。(2学年保護者)」「今の出来事を例にしていたので、自分が子どもの頃に理解できなかったことが分かるようになりました。(3学年保護者)」など、多数の皆様から温かい感想等を寄せていただきました。アンケートは職員一同で回覧し、今後の本校の教育活動の糧としていきたいと思っております。

ご存じの方も多いと思いますが、本校周辺には国指定史跡見沼通船堀をはじめ有名な史跡が多くあります。そのひとつに大牧地区にある清泰寺(せいたいじ)には有名な戦国武将武田信玄の娘、見性院(けんしょういん)の墓所があります。見性院は武田信玄の次女として生まれ、信玄の有力な家臣である穴山梅雪(あなやまばいせつ)の元に嫁ぎました。武田家が織田信長によって滅ぼされた後、武田家の家臣団の優秀さを認めていた徳川家康は元武田家の家臣を多く召し抱えます。夫を失った見性院も家康に保護され、江戸城内に住むこととなりました。そこで2代将軍の徳川家忠の子、幸松丸(こうまつまる)の養育係となり、激動の戦国の世を77年間生き抜き、その生涯を閉じました。幸松丸は成人して保科正之(ほしなまさゆき)と名乗り、兄の徳川家光、おいの4代将軍徳川家綱の政治を補佐し、会津藩の初代藩主となりました。見性院は徳川家に与えられた領地である武蔵国大牧村清泰寺に埋葬され、その後、養育された恩義を感じた保科正之が清泰寺にある見性院の墓所を整えたそうです。

こうして見性院の生涯を見てみると、前半生は乱世の影響を受け数多くの不幸に見舞われながらも、晩年は人の温かさを感じられた生涯だったのであろうと思えました。家康の保護を受けた後、見性院は家康の子であり、武田家の血をひいた五男信吉(のぶよし)の後見人となります。信吉の実母が亡くなり、養母としての役割を求められたそうです。前に述べた保科正之も7歳まで養育された後、保科家に養子に行きました。見性院は母親の代わりとしてこの二人にたっぷりと愛情を注いで育てたのではないかと思います。保科正之は武力優先の政治(武断政治)から武力に頼らず、法令などによる政治(文治政治)を推し進め、天下泰平の世の中、戦いのない平和な世の中をつくった政治家、領国では名君としても有名な人物です。このような人物となったのも見性院の功績によるところが大きいのではないかと感じる次第です。

私が人生で成し遂げたことは、母から受けた

精神教育、知的教育、身体教育のおかげである。

ジョージ・ワシントン(アメリカ合衆国初代大統領)